

10/14 3.74

ヤマトパート社員が労組

私たちをモノ扱いしないで！
身勝手な人減らし許さない
ヤマト運輸の



労働組合を結成した林野委員長（左から2人目）
らヤマトのパート社員たち=13日、茨城県土浦市

茨城の物流拠点 解雇やめよ

ヤマト運輸がメール便「クロネコDM（ダイレクトメール）便」の仕分けを担うパート社員を来年一月末に大幅削り止めにしようとしている問題で、13日、物流ターミナルの茨城ベース（茨城県土浦市）のパート社員が解雇・退職強要の撤回を求め、建交労総監督工「オン・ヤマト運輸茨城班」を結成しました。ヤマトのベースでパート社員の組合結成は初。土浦市で開いた結成大会で、ストライキ権を確立しました。

ヤマトは、カタログや小荷物など投函商品関連業務を日本郵便に移管するとして、配達の納期が遅れる方以上の契約切り、仕分けのパート社員のリストラを通告。パート社員は退職届へのサインを迫られています。

林野さんはヤマトで働く15年、深夜10時～翌日6時まで勤務。シングルマザーで子ども3人を学校に送り出し、昼は飲食店などの単発バイトを掛け持ちして、再びヤマトで働く毎日。ヤマトでの収入は毎月21万円程度です。

組成大会で、解雇・退職強要をやめること、ヤマトイニシヤの労務への異動や退職する場合でも退職条件を改善することなく、個人の希望に応じるなどの要求を確認しました。

茨城ベースの夜勤で、DM便仕分けをする19人のうち予定しているのは、